有田内山地区MAP

17世紀の初め、日本で初めて磁器生産に成功した有田は、佐賀藩の直轄地として磁器生産の中心地で『有田千軒』と称されるまで発展しました。その後、1828年に大火によってそのほとんどが焼失し、現在の建物はその後復興した町並みです。この町並みは特に歴史的価値が高いとして、1991年、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。毎年100万人以上の人出で賑わう「有田陶器市」は、100年以上の歴史がありますが、この通りを中心として毎年ゴールデンウィーク期間に開催されます。

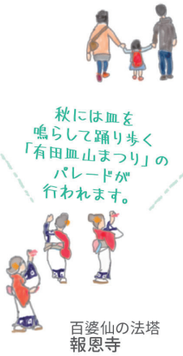
名称:有田町有田内山伝統的建造物群保存地区　区分:重要伝統的建造物群保存地区

保存地区は、洋風建築を含む江戸時代後期から昭和初期にかけて多彩な建物が連なっています。

有田駅

有田銘品館

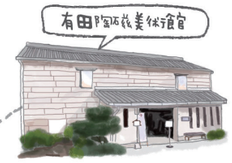
秋には皿を鳴らして踊り歩く「有田皿山まつり」のパレードが行われます。



観光案内所です！

旧田代家西洋館

2018年12月に国の重要文化財に指定！陶磁器を買い付けに来た外国商人の宿泊・接待施設として明治9年に建築された和洋折衷の建物です。



有田陶磁美術館

有田陶器市、秋の陶磁器まつりにはトンバイ塀通りにカフェが登場！

有田館・有田観光協会へお越しの際はこちらの駐車場をご利用ください。

トンバイ塀

有田町歴史民俗資料館

おおいちょう大公孫樹

やきものの大鳥居

陶祖李参平の碑

泉山の陶石を発見したとされる有田焼の陶祖李参平の記念碑です。

手先が器用になるという「御手の観音」が祀られています。